

# 図書館教育

## 令和2年度 図書館教育年間計画

年間を通して、継続的に子どもたちが本に興味を持つことができるよう、月に1度の全職員によるブックトーク、学期に1度の全児童によるビブリオバトル、全家庭で月に1度の母子家庭読書の日を行っています。また、学校司書による図書の展示も充実してきました。

全校児童12名の小規模校であることを生かして取り組むことで、どの子も本の面白さを感じ、読書に親しむことができるようになりました。

実施日時	計画内容	実施の主体
8月24日	ビブリオバトル	全校児童
10月19日	ブックトーク	職員
11月2日	ブックトーク	職員
12月16日	ブックトーク	職員
12月21日	ブックトーク	職員
1月18日	ビブリオバトル	全校児童
2月8日	ブックトーク	職員
3月1日	ブックトーク	職員

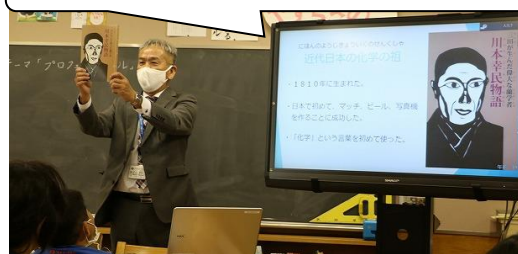
毎月20日は母子家庭読書の日

## ブックトーク

毎月1回月曜日をブックトークの日として実施をはじめ、7年目になります。ブックトークとは、テーマを決めていろいろなジャンルの本を、短い時間でつないで紹介するものであり、読み聞かせとはねらいが異なります。聞き手である児童に、その本を「読みたい」と興味を持たせるために行います。ブックトークは読み聞かせと比べ、短時間に何冊も本を目にすることができます。季節や学校の行事に合わせて本を紹介することで、子ども達は「今日の図書の日、ブックトークがあるんですね!」と、毎月のブックトークを楽しみにしています。1年間で、およそ60冊の本を子どもたちに紹介しています。



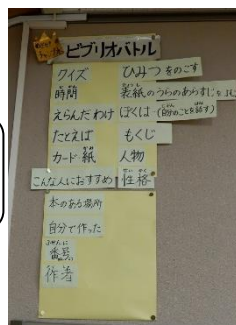
全職員が年に1回ブックトークを行っています。



## 学期に1度の ビブリオバトル

学期に1度は、全校児童が参加し、ビブリオバトルを行っています。ビブリオバトルとは、制限時間(たとえば3分間)内に、おすすめの本1冊を紹介する紹介合戦です。聴衆(児童)は、紹介された本の中から、読んでみたいと思った本に1票を投票し、得票数の多かった本がチャンプ本になります。

ビブリオバトルで子どもたちが身につけた工夫



年間に3回行うことで、子どもたちは聞き手を惹きつける工夫と、選ぶ本を厳選して行くことができるようになってきます。子どもたちが手に取りたい本を図書室に揃

え、効果的に紹介し合うことで、どの子ども本が好きになりました。図書を楽しみにし、隙間の時間ができると黙々と本を読む子どもたちの姿が、母子小学校にはあります。



これまでに子どもたちから選ばれたチャンプ本の数々



## 母子家庭読書の日

毎月20日は“母子小家庭読書の日”

三田市立母子小学校  
本を読むことで子どもは人を思いやる心を育てると同時に、基礎的・基本的な知識を習得します。また、語彙の広がりをはじめとして、言語力が豊かに育まれていくことで、思考を深め、自分の思いを効果的に表現することができるようになり、人生をよりよく生きていくための力を培っていきます。

そこで、本校では毎月20日を母子小家庭読書の日と設定いたしました。今年度も、子どもたちのことばの力をはぐくむことを大切に、教育活動を展開しております。また、年間を通して図書の時間や読書生活の充実をはかっています。

子どもたちが家庭でゆっくり本の世界を楽しむことができるよう、ご協力ください。よろしくお願いたします。

方法：帰宅後、家庭で読書を楽しみ、一言感想を書く。

構えず気楽に、好きな本をご家族で楽しむ時間を、お子さんと共有いただければ幸いです。



日	読書 (青い本・黄色い本)	ページ
16	20 名探偵団くわいそつ作 ④	242
17	12 2の名の艦隊を撃つ	289
18	11 少年エッセの女子学生	294
19	11 ぼるのはげ	299
20	11 また同じ夢を見ました	258
合計		1918 ページ
ここまでの合計		9999 ページ

日	読書 (青い本・黄色い本)	ページ
21	111 青くていたくてむい	911
22	111 もももん	292
23	111 HIMAWARI	249
24	121 5分待たないで	248
25	123 5分待たないで	216
合計		1918 ページ
ここまでの合計		9999 ページ

家庭読書の充実に取り組むことで、児童のことばの力の育成と豊かな人生作りの基盤を養うことをねらい、毎月20日は家庭で読書を楽しむ日としています。

読んだ本は、三田市内の児童生徒全員が持つ「読書通帳」に記録し、月に1度の読書の記録になります。



## 学校司書による本の展示

本年度より、学校司書が月に2回勤務するようになり、季節やテーマに合わせて子どもたちの興味に合わせた本の展示を行っています。6月の休校明けには、全職員が子どもたちに向けて本の紹介カードを書きました。

子どもたちが読みたい気持ちを持つきっかけになればと願っています。

